



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しく下さい。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

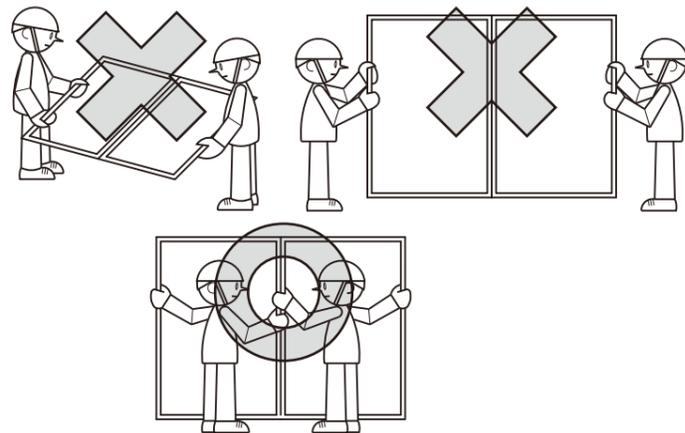
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
 - ・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
 - ・サッシ本体を組立て後、浴室用部品セットを使用し、所定の防水処理（防水シールの張付け）を行ってから連窓を行ってください。
 - ・連結部のアングル取付けねじを固定する前に、ねじ穴にコーキング材（別途）を充てんしてください。
 - ・カバー材取付け後、指定個所にコーキング材（別途）を充てんしてください。
 - ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール（同梱）を張付けてください。

■組立て上のお願い

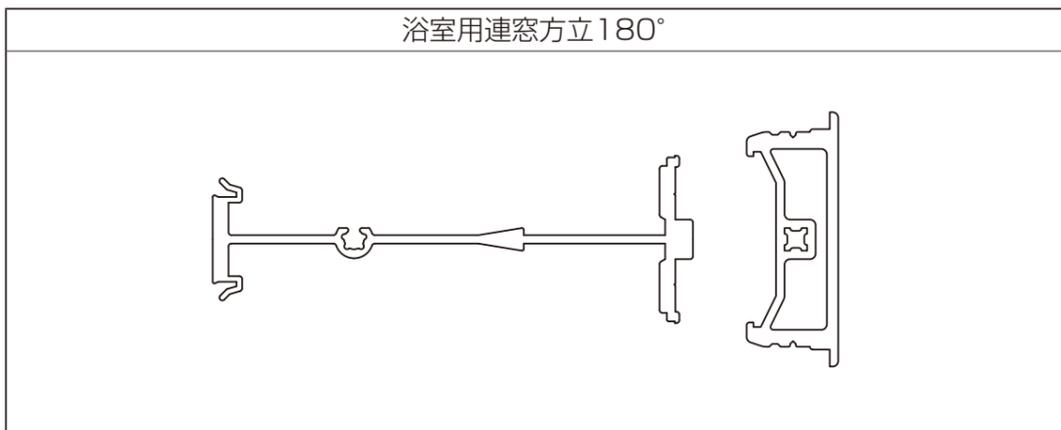
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、障子、又はガラスは枠を躯体に固定した後にに入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。
- 連窓後の取付けは、「浴室用連窓方立取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しく下さい。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立て後の取扱いとお願い

- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分を支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



■連窓方立180°の種類



■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いの無いように使用してください。

①	㊦	㊨
バインド小ねじ M4×8	皿タッピンねじ φ4×12	ナベタッピンねじ φ4×20

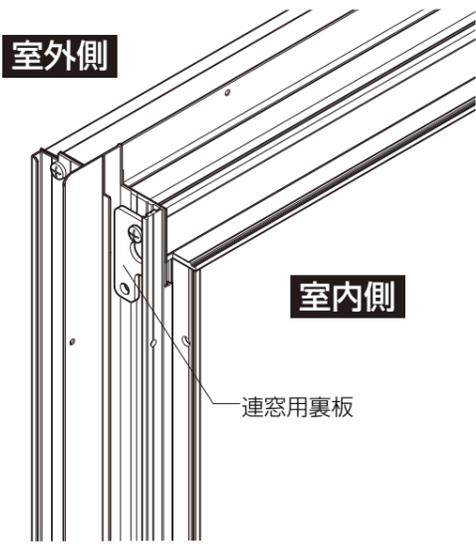
■部品一覧表

連窓用裏板	上キャップ	下キャップ	防水補助シール	上部止水ピース	穴かくしラベル ※引違いサッシに同梱	止水補助シール	浴室用防水シール ※浴室用防水部品 セットに同梱

■組立て順序

1 浴室用防水シールの張付け

2 連窓用裏板の取付け



■組立て順序

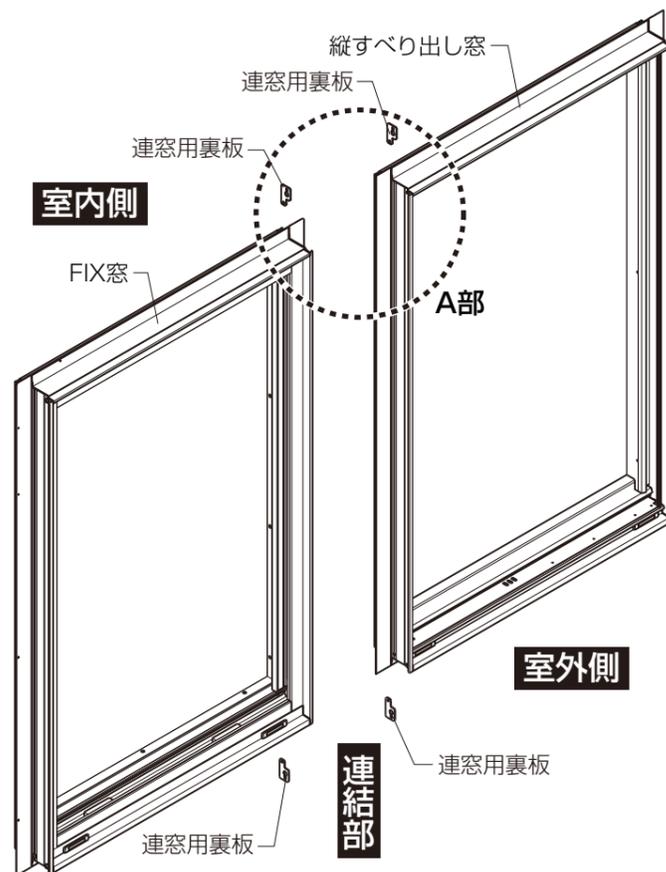
1 浴室用防水シールの張付け

- サッシ枠を組立て後、浴室用防水部品セットの組立て・取付け説明書にしたがい、浴室用防水シールの張付けを行います。

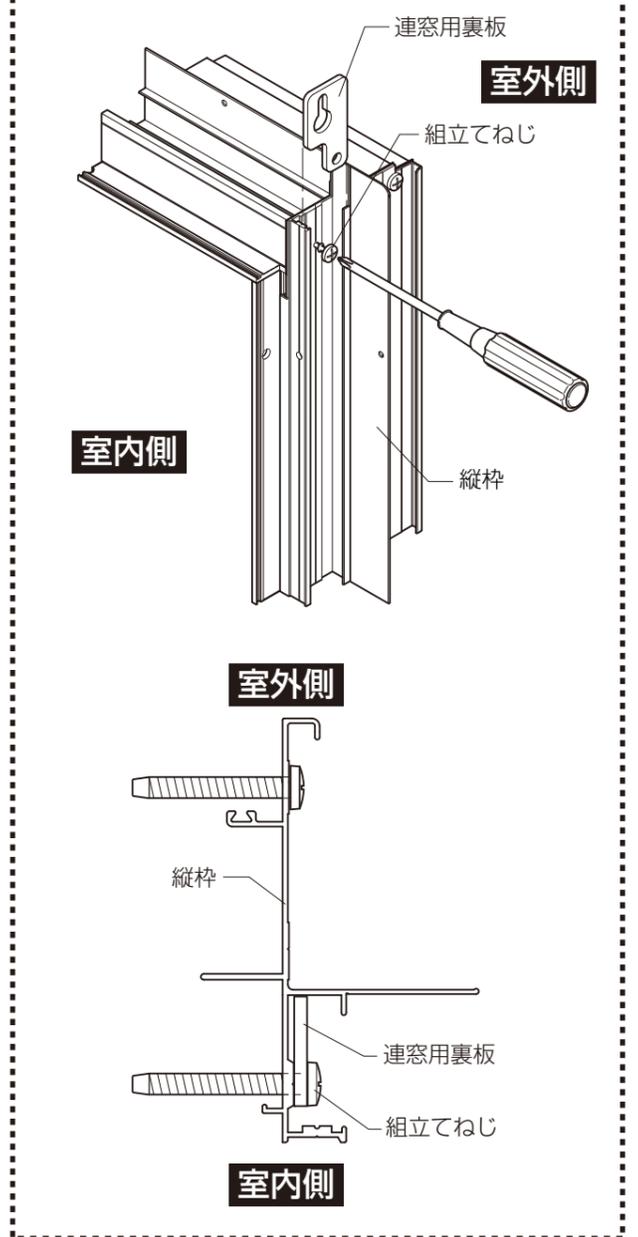
2 連窓用裏板の取付け

- 連結部上下（室内側）に連窓用裏板を入れ、枠をそれぞれ組立てます。
 - ① 連結側縦枠上下2カ所の室内側組立てねじを緩めます。
 - ② 緩めたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けてスライドさせ、ねじを締直してください。（図1）
連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。
- ※ 裏板は上下、左右、品種によらず共通です。
- ※ 引違いサッシを連窓する場合、連窓用裏板の丸穴と縦枠の組立て穴を合わせてねじ止めします。

【組立て例：縦すべり出し窓+FIX窓】

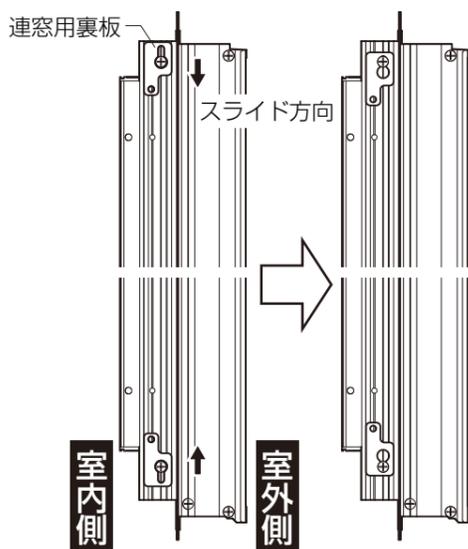


■A部詳細図

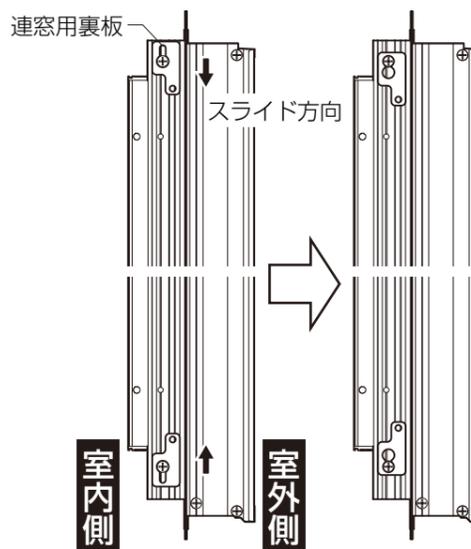


(図1)

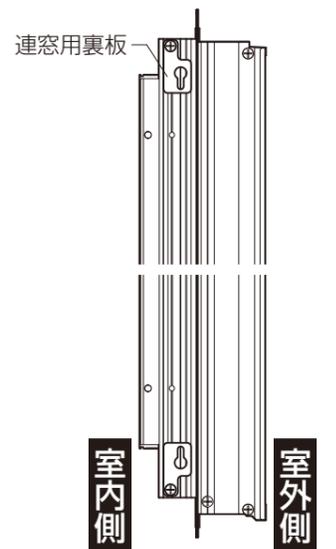
●組立てねじが室外側によっている場合



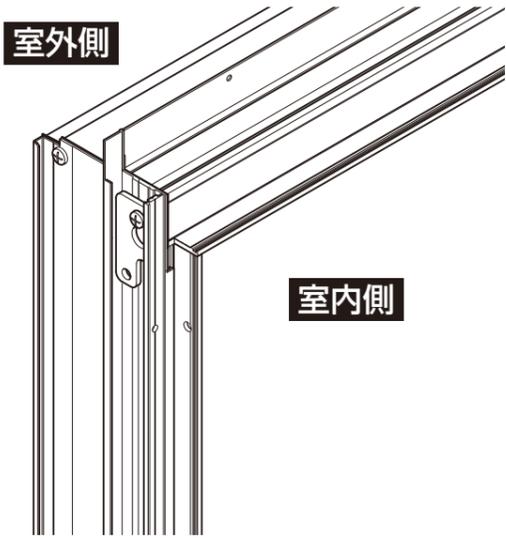
●組立てねじが室内側によっている場合



●引違いサッシを連窓する場合

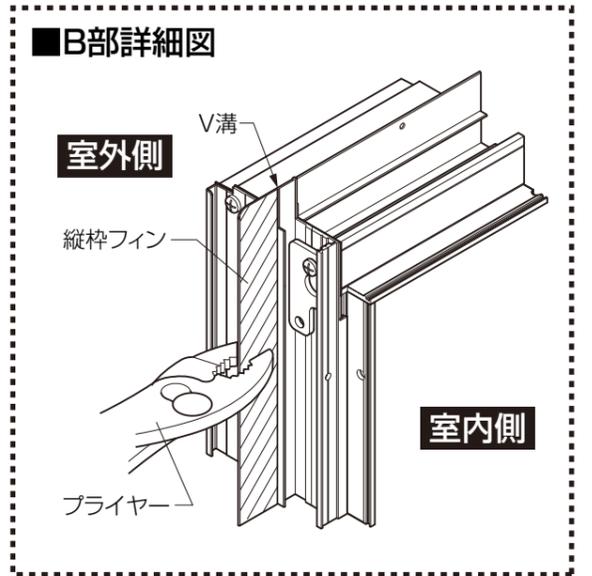
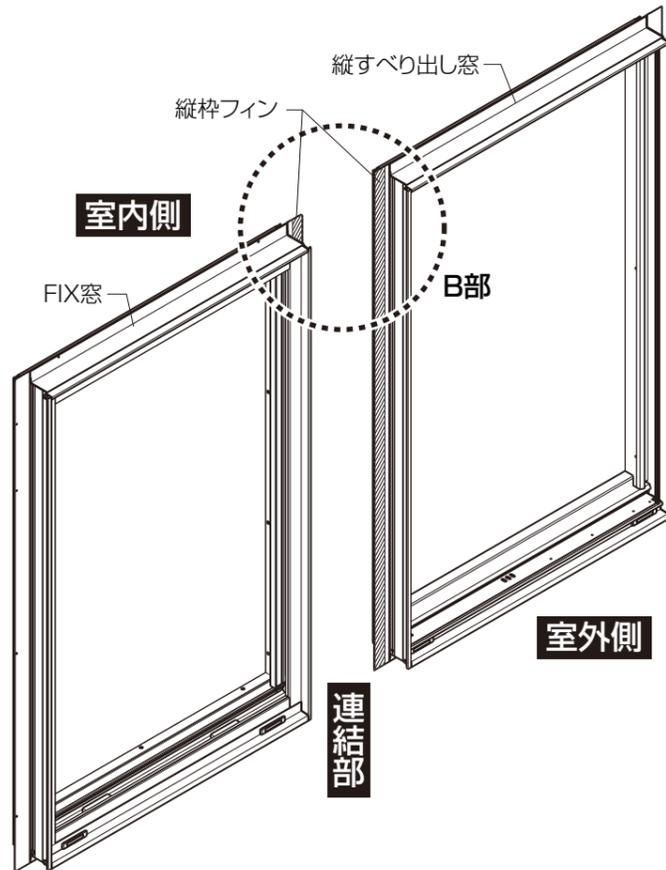


3 縦枠フィンのカット

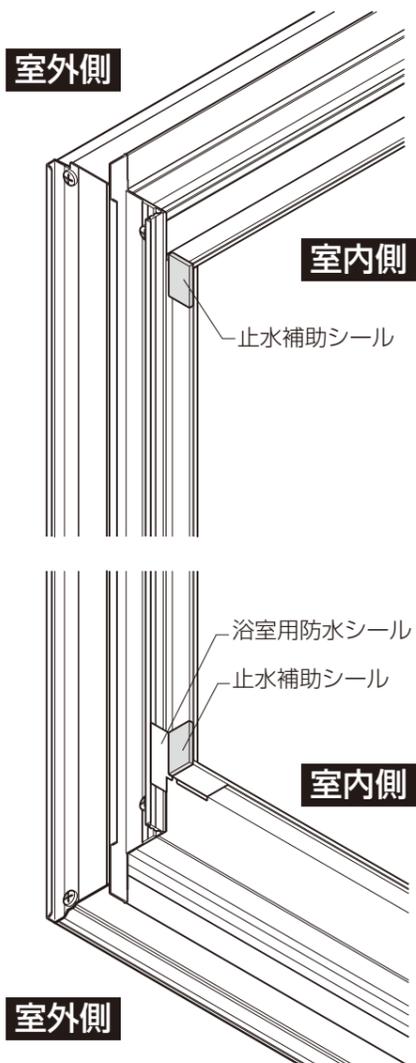


3 縦枠フィンのカット

- ① 連結する側の縦枠のフィンのV溝にカッターで1~2回スジをつけます。
- ② プライヤーなどで  部を折り曲げながら取去ります。



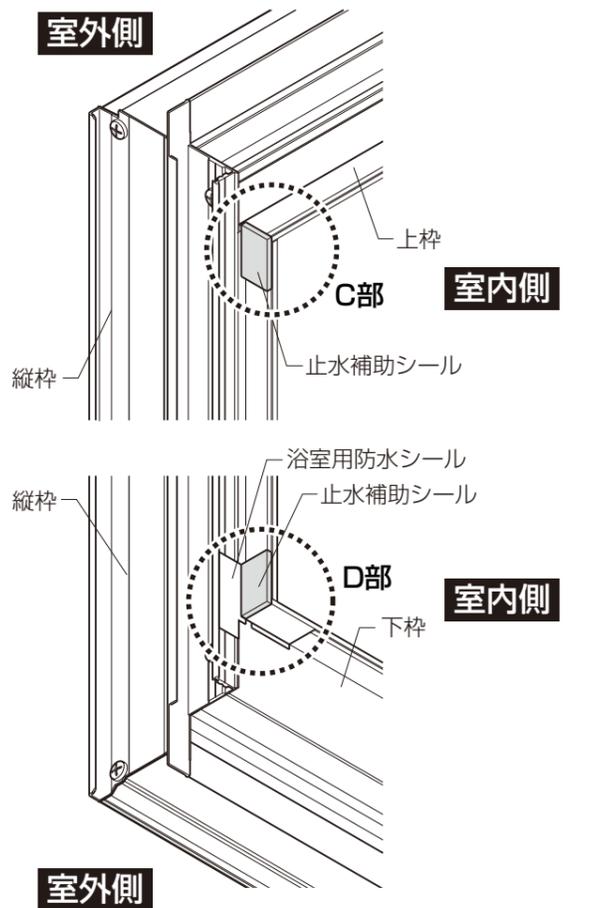
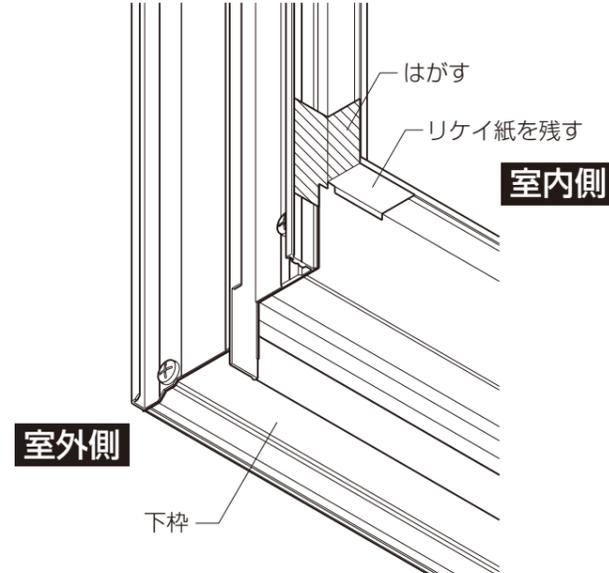
4 止水補助シールの張付け



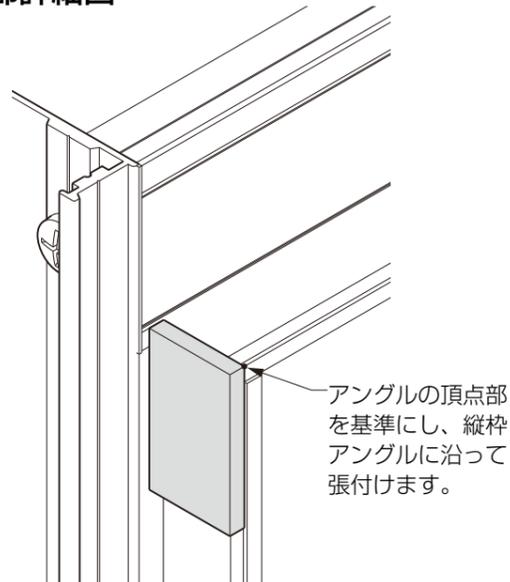
4 止水補助シールの張付け

- ① サッシ本体に張付けた浴室用防水シールのうち、連結側の浴室用防水シールのリケイ紙を一部だけはがします。(図2)
- ② サッシ本体の連結側の縦枠アングル(上下4カ所)に止水補助シールを張付けます。
※ 下部については浴室用防水シールのリケイ紙をはがし、その上から張付けます。

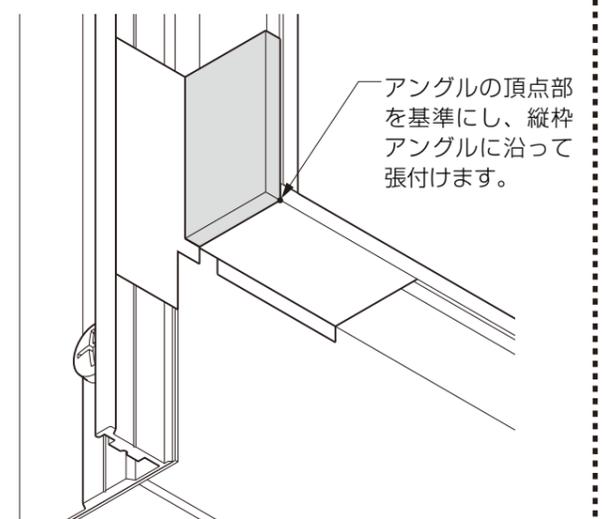
(図2) ※  部のリケイ紙をはがします。



C部詳細図

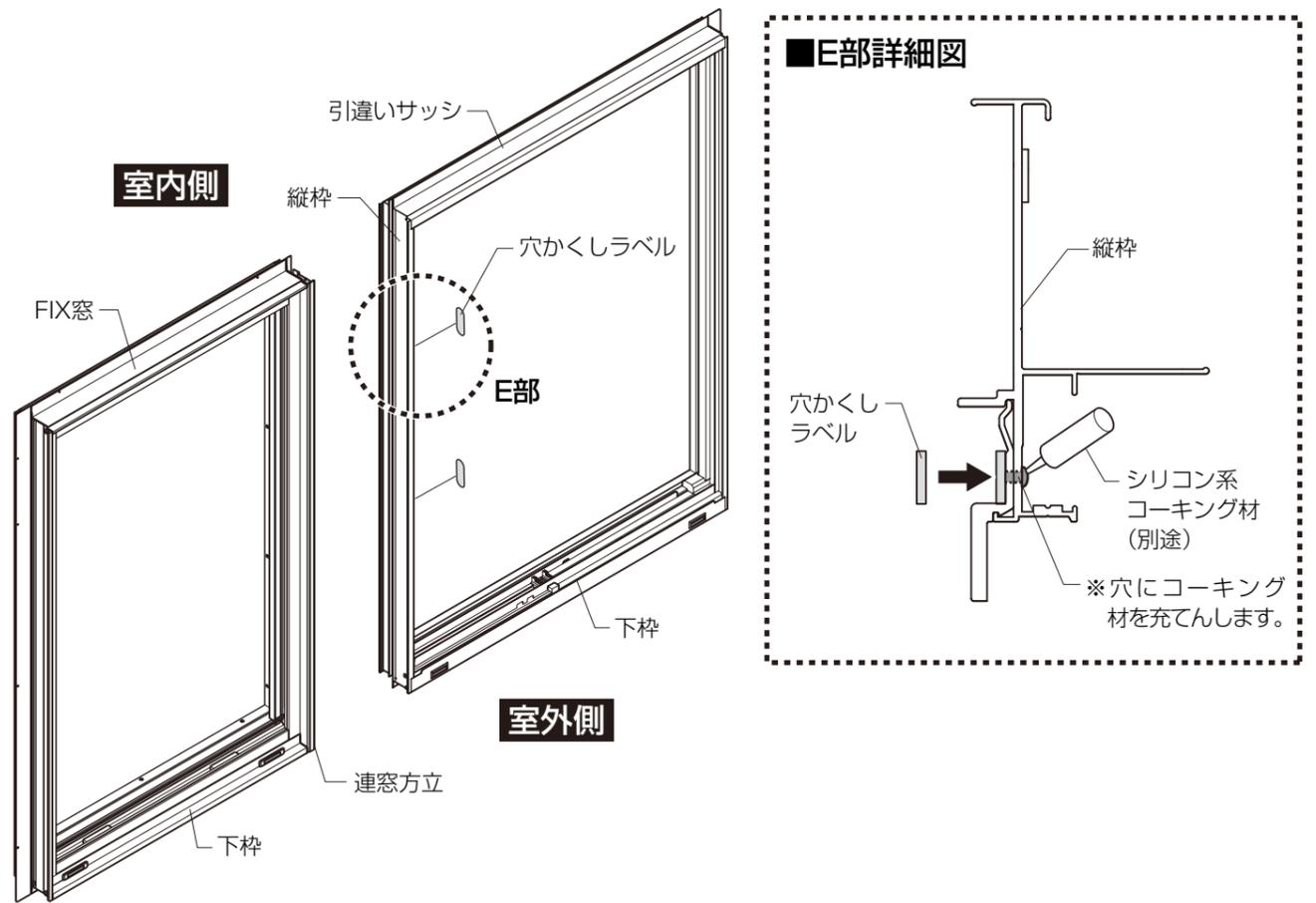


D部詳細図

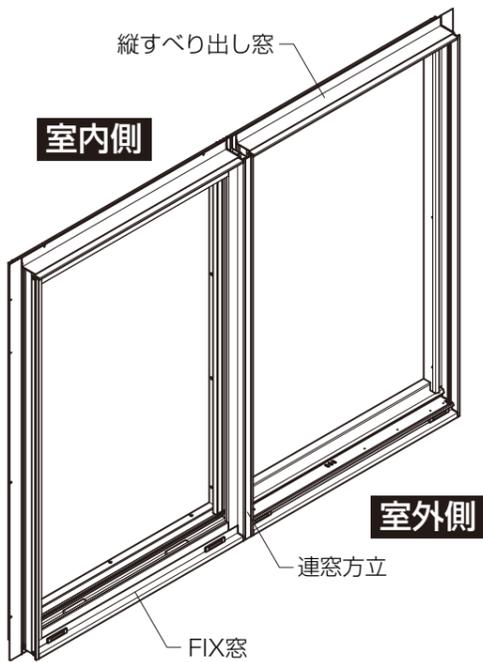


●引違いサッシの連窓の場合、連結側の縦枠に対し以下の項目を連結前に行ってください。

- ①引違いサッシに同梱されている、穴かくしラベルにて連窓側の縦枠の固定穴をふさぎます。
※穴かくしラベルは余る場合があります。
- ②縦枠の固定穴にコーキング材（別途）を充てんしてください。



5 連窓方立との連結



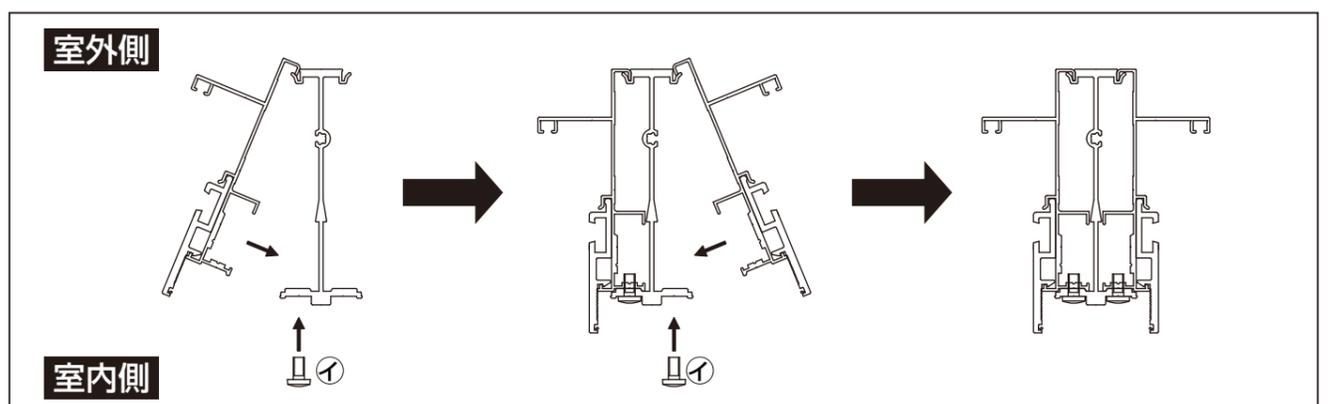
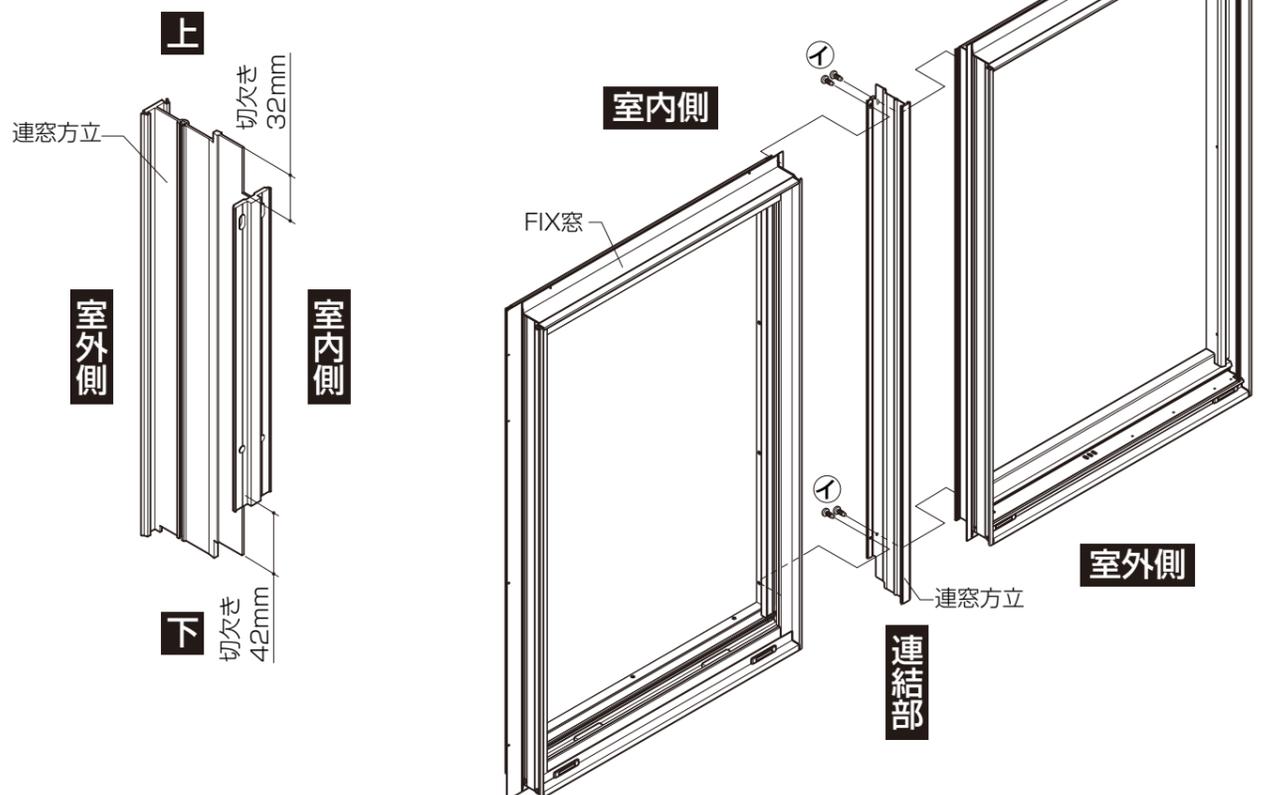
5 連窓方立との連結

※連結前に連窓方立の上下を確認してください。（図3）

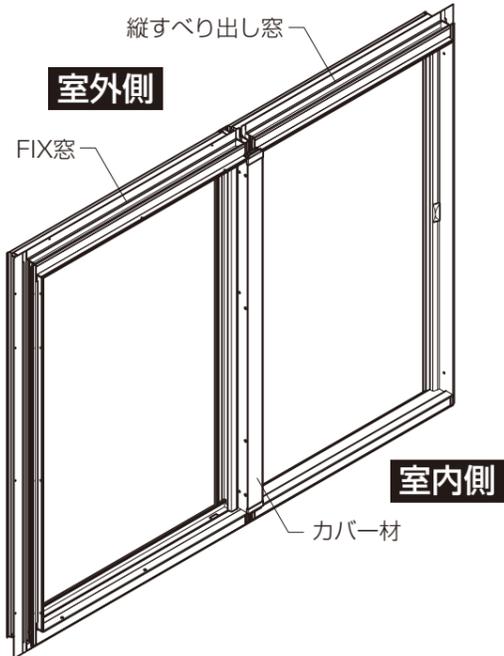
※本図はFIX窓と縦すべり出し窓の場合を説明しています。他品種の連窓の場合も手順は同様です。

- ①連窓方立をFIX枠にはめ込みます。
- ②縦すべり出し枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべて①のバインド小ねじでねじ止めします。

(図3)



6 カバー材の取付け



6 カバー材の取付け

※取付け前にカバー材の上下を確認してください。(図4)

①上部止水ピースをカバー材上部に差込みます。

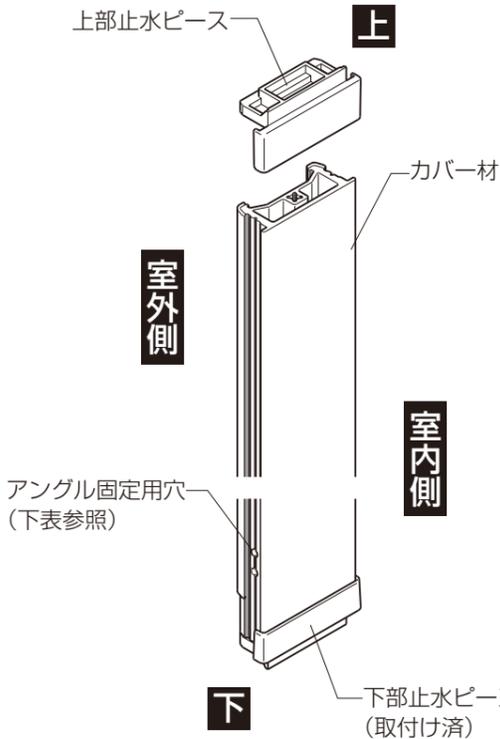
②カバー材の下部にあるアングル固定用の穴(下から2つ目の穴)と縦枠のアングルの下端の穴の位置を合わせてカバー材をはめ込みます。

※カバー材の下部には加工穴が2カ所または3カ所あります。商品によりアングル固定用の穴が異なりますので下表を参照して下さい。

③縦枠のアングルのねじ穴にシリコン系コーキング材(別途)を充てんして◎皿タッピンねじでねじ止めしてください。(図5)

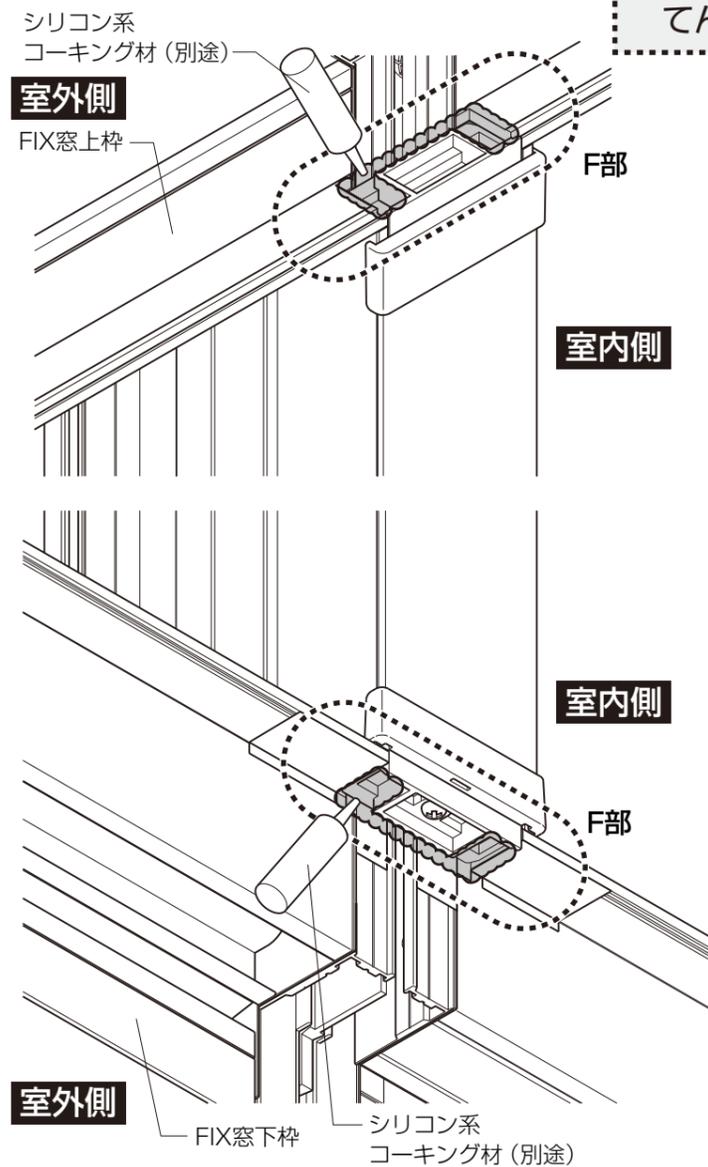
④カバー材取付け後、上下の指定箇所(■部)にシリコン系コーキング材(別途)を充てんしてください。(図6)

(図4)

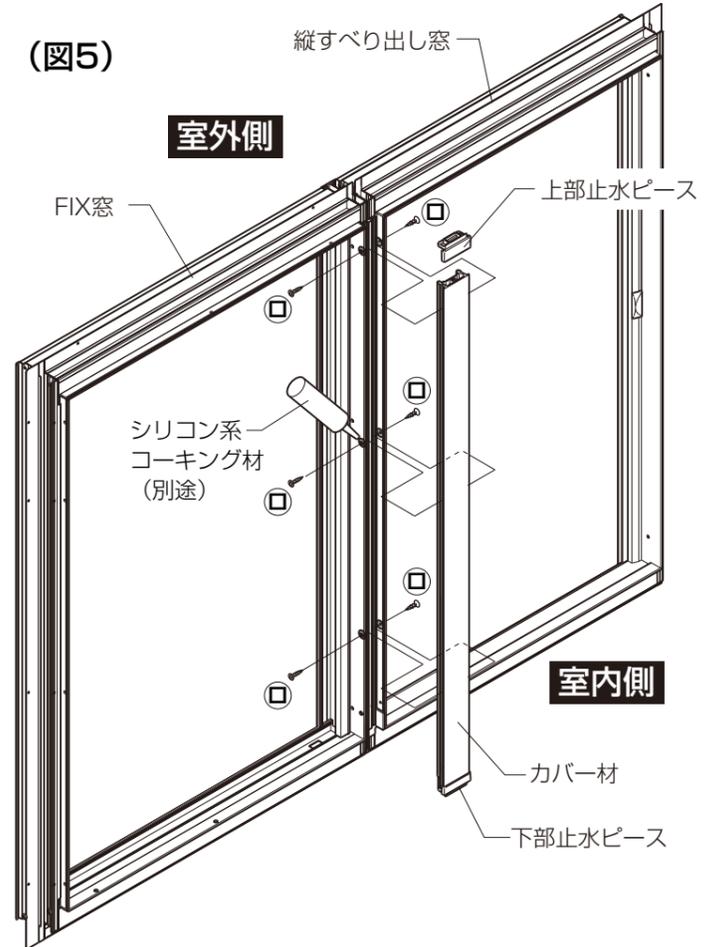


	H<180	180≤H
オーニング窓 横すべり出し窓 オペレーター 押し出し窓	—	下から3つ目の穴
上記以外	下から2つ目の穴	

(図6)



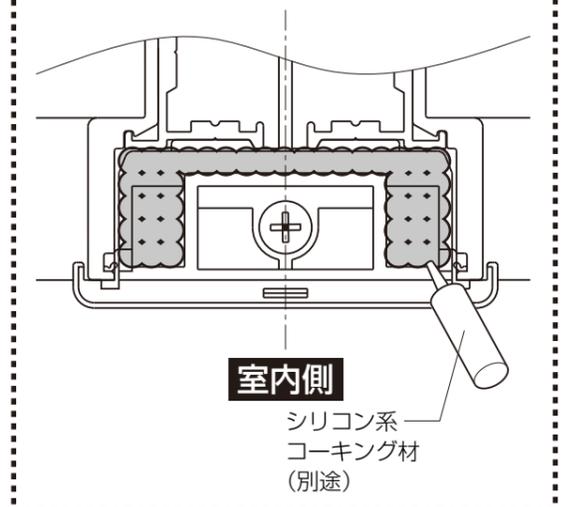
(図5)



▲ 注意

- ◎皿タッピンねじで固定する前に必ずねじ穴にシリコン系コーキング材(別途)を充てんしてねじ止めください。

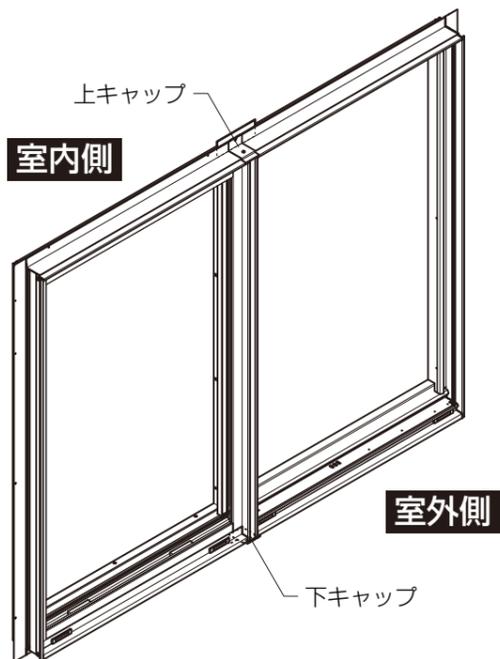
■ F部詳細図



▲ 注意

- カバー材取付け後、上下の指定箇所(■部)にシリコン系コーキング材(別途)を充てんしてください。

7 上・下キャップの取付け



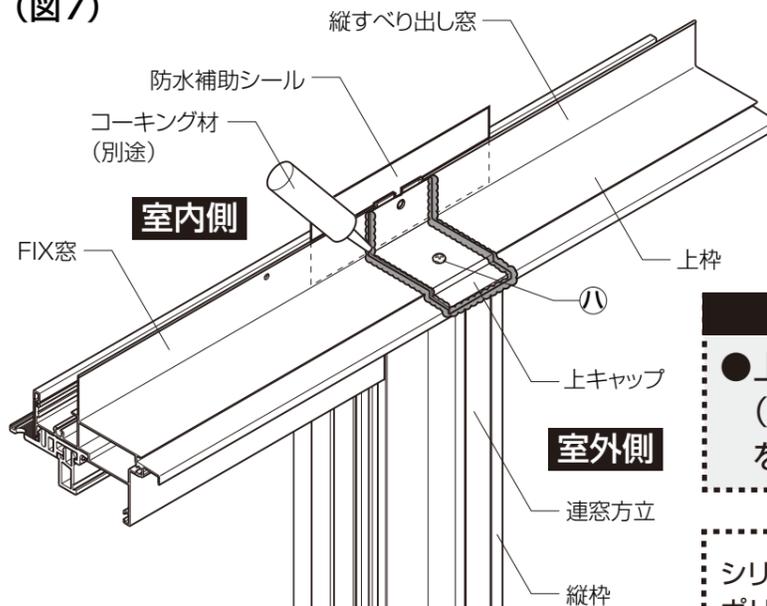
7 上・下キャップの取付け

① 連結部の上・下にキャップを⑧ナベタッピンねじで取付けてください。(図7) (図8)

※キャップには上・下がありますので確認してください。

② フィンの裏面より防水補助シールを張付けてください。(図7) (図8)

(図7)



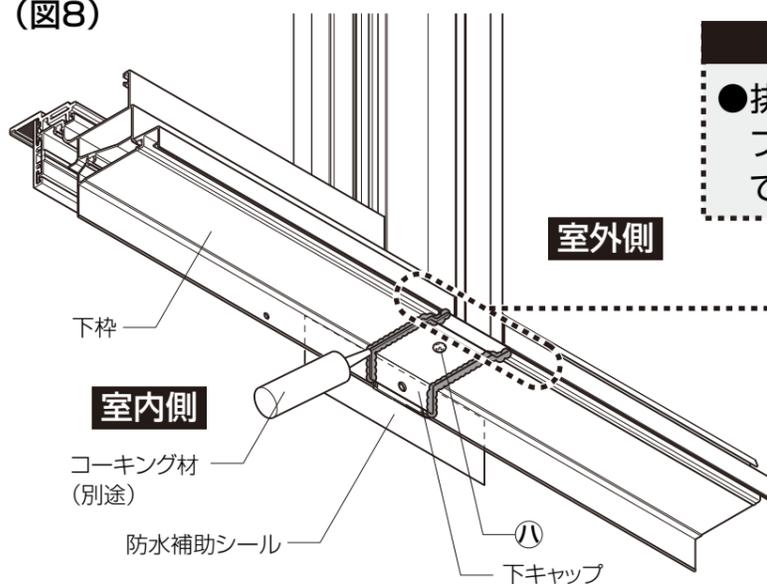
▲ 注意

- 上・下キャップ取付け後、指定個所 (□部) にコーキング材 (別途) を充てんしてください。

..... コーキング材について

シリコン系コーキング材は使用しないでください。ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。

(図8)



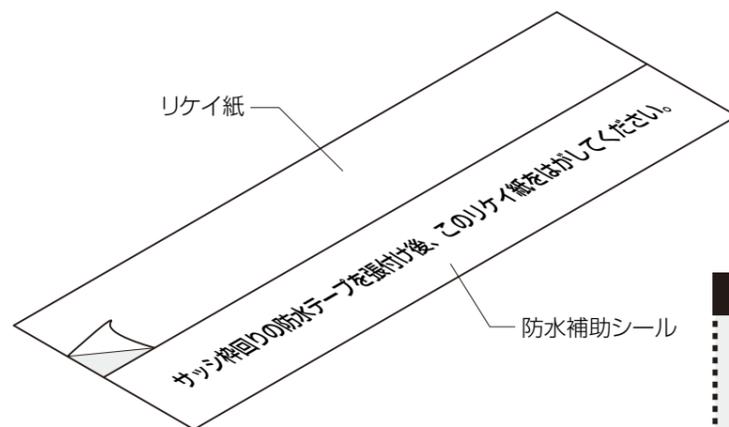
▲ 注意

- 排水経路を確保するため、下キャップの前面部にはシーリングをしないでください。

■ 防水補助シールの張付け

● 片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。

※必ず文字の書いていない方をはがしてください。



▲ 注意

- 上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール (同梱) を張付けてください。